

提 供 日 2026/08/20
タイトル 毎年応募多数の人気科目「しずおかフィールドスタディ（お茶）開講！」
担 当 企画部 総合教育課
連 絡 先 総合教育・大学班
TEL 054-221-3764



令和8年度 短期集中単位互換授業 毎年応募多数の人気科目「しずおかフィールドスタディ（お茶）」開講！

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアムでは、本県の地域資源をテーマにした、短期集中単位互換授業※（フィールドワークを含む）を実施しています。

8月31日（月）～9月3日（木）は、静岡県立大学が開設する「しずおかフィールドスタディ（お茶）」が開講されます。

単位互換協定を結んでいる高等教育機関から5校（静岡県立大学、静岡大学、静岡文化芸術大学、静岡英和学院大学、常葉大学）の学生が参加します。

1 概 要

（1）目 的

植物としての茶から茶葉に加工され、消費者に届くまでの過程を知るとともに、国内外の様々なお茶を巡る情勢について学び、これからのお茶の可能性を考えます。

（2）日時・場所等（詳細は別紙参照）

実施日	内 容	会 場
8月31日（月）	概論・茶文化・茶道体験	ふじのくに茶の都ミュージアム （島田市金谷富士見町3053番地の2）
9月1日（火）	実習	丸福製茶 （静岡市葵区平野2288、静岡市葵区若松町25）
9月2日（水）	お茶の生産・加工・ 流通・経営	静岡県立大学【一般教育棟1階2107講義室】 （静岡市駿河区谷田52-1）
9月3日（木）	マーケティング・総論	静岡県立大学【一般教育棟1階2107講義室】 （静岡市駿河区谷田52-1）

※短期集中単位互換授業

他大学の科目を履修し、在籍大学の単位として認定するもの。

現在の単位互換協定校は以下のとおり

静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡産業大学、静岡大学、静岡文化芸術大学、静岡理工科大学、常葉大学、沼津工業高等専門学校、浜松学院大学、東海大学静岡キャンパス
計10校

2 お問合せ

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム事務局

担 当 大石

電 話 054-249-1818 ※当日の連絡先 090-6205-8457

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階

※取材を希望される場合、前営業日正午までに担当者宛て御連絡ください。



公 益 社 団 法 人 The Consortium of Universities & Local Communities in Shizuoka
ふじのくに 地域・大学コンソーシアム

令和8年度 公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム
短期集中単位互換授業「しずおかフィールドスタディ（お茶）」時間割

実施日	内容	会場
8月31日（月） 8：50 開始 ↓ 16：20 終了	<概論・茶文化> ①ガイダンス（8：50～9：10） ②講義「茶学概論、お茶の生産・加工」（9：10～10：40） 講師：静岡県立大学食品栄養科学部特任教授 中村順行 ③講義「ふじのくに茶の都ミュージアムの役割とお茶の振興」（10：50～12：00） 講師：ふじのくに茶の都ミュージアム客員研究員 白井満 ④ふじのくに茶の都ミュージアム館内見学・茶道体験（12：40～14：40） ⑤講義「お茶の歴史と文化」（14：50～16：20） 講師：静岡大学非常勤講師 吉野亜湖	集合：静岡駅 金谷駅 ふじのくに茶の都 ミュージアム （島田市） 解散：静岡駅 金谷駅
9月1日（火） 9：00 開始 ↓ 16：30 終了	<実習> ①実習「荒茶工場見学・お茶摘み」（9：00～10：40） ②実習「お茶づくり・お茶の淹れ方講座」（10：40～15：00） ※昼食含む ③実習「仕上げ工場見学」（15：00～16：00） ※解散後に駅まで街中の茶店を散策する予定	集合：静岡駅 丸福製茶 他 （静岡市葵区） 解散：丸福製茶本社
9月2日（水） 9：00 開始 ↓ 16：00 終了	<お茶の生産・加工 / 流通・経営> ①講義「ティーツーリズムによる茶産業コミュニティの活性化」（9：00～10：30） 講師：静岡県立大学経営情報学部准教授 カウクルアムアン アムナー ②講義「静岡茶の市場価値を高めるマーケティング」（10：45～12：15） 講師：株式会社 AOBET 片桐優 ③講義「川根の茶業と生活・文化及び観光について」（13：15～14：45） 講師：つちや農園 土屋和明 ④グループワーク 「静岡のお茶を海外へ打ち出していくためにはどうすればよいか」 （14：45～16：00）	集合・解散： 静岡県立大学 2107 講義室 （静岡県静岡市 駿河区谷田 52-1）
9月3日（木） 9：00 開始 ↓ 16：00 終了	<マーケティング / 総論> ①講義「茶の機能と多用途利用」（9：00～10：30） 講師：静岡県立大学食品栄養科学部特任教授 中村順行 ②講義「日本茶の現状と課題、茶商としての取り組み及び見識等について」（10：45～11：45） 講師：株式会社おちゃらか 代表取締役 ステファン・ダントン ③グループワーク 「静岡のお茶を海外へ打ち出していくためにはどうすればよいか」 （12：45～15：15） 講師：株式会社おちゃらか 代表取締役 ステファン・ダントン ④全体総括（15：30～16：00）	集合・解散： 静岡県立大学 2107 講義室 （静岡県静岡市 駿河区谷田 52-1）

しずおかフィールドスタディ

単位互換制度とは、他の大学において修得した授業科目の単位を、自大学の単位として修得したものとみなされる制度です。

ふじのくに地域・大学コンソーシアムでは、単位互換協定校の学生を対象に、フィールドワークと講義を組み合わせた授業を開講します。いろいろな大学、学部、学部の学生と静岡県ならではの学びを体験できます。

単位互換
協定校

静岡大学、沼津工業高等専門学校、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、静岡英和学院大学、静岡産業大学、静岡理工科大学、東海大学静岡キャンパス、常葉大学、浜松学院大学

科目(開設大学)	日程(予定)	内容	募集日程(予定)
演劇論 (静岡英和学院大学)	8月中下旬	静岡県が誇るSPAC(静岡県舞台芸術センター)から講師を招き、ワークショップや観劇を通し、演劇について、また現代社会における演劇を取り巻く状況について考える。	6月1日～ 6月26日
静岡県の産業イノベーション (静岡産業大学)	8月下旬(4日間)	静岡県の産業のイノベーションについて、実践的に学習する。実際に企業を訪問し、地元企業の理解促進を図るとともに、本県産業の現状と課題を理解し、将来の産業の姿を考える。	
お茶 (静岡県立大学)	9月上旬(4日間)	お茶に関する施設への訪問やお茶の収穫といった、お茶の歴史や伝統に触れる実習を行う。講義では栄養学や加工、流通など多様な視点からお茶を総合的に学習し、お茶の魅力について考える。	
静岡県西部地域の特性と産業 (静岡文化芸術大学)	9月中旬(3日間)	浜松を中心とした県西部地域の特性と産業の課題について、講義で地域の現状を理解する。また、企業や団体の生産・活動の現場で事例調査を行い、地域の課題や解決方法、未来の展望について学ぶ。	
南アルプスの自然 (静岡大学)	10月上旬(2日間)	国立公園やユネスコエコパークに認定された南アルプスを題材に、生態系の保全と持続可能な利活用、自然と人間社会の共生をいかに調和していくかを、静岡市井川地区での講義・実習を通じて考える。	7月8日～ 8月7日
農林業 (静岡大学)	後期(※1)	静岡県の農作物、樹種について、静岡大学付属農場(藤枝フィールド)、付属演習林(天竜フィールド)で秋冬期の作業を体験し、その特徴について基本的な事柄を総合的に学ぶ。	10月1日～ 10月30日
観光学 (静岡県立大学)	1月中旬(2日間)	東部地区や伊豆半島を舞台に、観光業に携わる方々の話を聴き、観光地を見学する。講義と野外学習を通して、本県の多彩な観光資源や地域の魅力について理解を深める。	
富士山学概論		R8年度休講	—

※1 オンデマンド講義を含む



科目の詳細については裏面へ



公 益 社 団 法 人 The Consortium of Universities & Local Communities in Shizuoka

ふじのくに地域・大学コンソーシアム

〒420-0839 静岡県静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2F 電話:054-249-1818 FAX:054-249-1820
メール:mail@fujinokuni-consortium.or.jp HP:http://www.fujinokuni-consortium.or.jp/



ホームページ

科目(開設大学)	開講時期(日数)	定員	単位	内容、訪問予定先	宿泊	参加費用	分野(※2)
演劇論 (静岡英和学院大学)	8月中下旬	50	2	静岡県が誇るSPAC(静岡県舞台芸術センター)から講師を招き、ワークショップや観劇を通し、演劇について、また現代社会における演劇を取り巻く状況について考える。 【訪問予定先】静岡芸術劇場(観劇) ほか		有	★
静岡県の産業イノベーション (静岡産業大学)	8月下旬(4日間)	20	2	静岡県の産業のイノベーションについて、実践的に学習する。実際に企業を訪問し、地元企業の理解促進を図るとともに、本県産業の現状と課題を理解し、将来の産業の姿を考える。 【訪問予定先】静岡県中西部企業(見学) 数ヶ所		有	☆
お茶 (静岡県立大学)	9月上旬(4日間)	40	2	お茶に関する施設への訪問やお茶の収穫といった、お茶の歴史や伝統に触れる実習を行う。講義では栄養学や加工、流通など多様な視点からお茶を総合的に学習し、お茶の魅力について考える。 【訪問予定先】ふじのくに茶の都ミュージアム(見学、茶道・ティーテラス体験)、丸福製茶(工場見学、茶摘み・製茶体験) ほか		有	◆
静岡県西部地域の特性と産業 (静岡文化芸術大学)	9月中旬(3日間)	16	2	浜松を中心とした県西部地域の特性と産業の課題について、講義で地域の現状を理解する。また、企業や団体の生産・活動の現場で事例調査を行い、地域の課題や解決方法、未来の展望について学ぶ。 【訪問予定先】浜松市内企業(見学) 数ヶ所			☆
南アルプスの自然 (静岡大学)	10月上旬(2日間)	20	1	国立公園やユネスコエコパークに認定された南アルプスを題材に、生態系の保全と持続可能な利活用、自然と人間社会の共生をいかに調和していくかを、静岡市井川地区での講義・実習を通じて考える。 【訪問予定先】静岡市葵区井川地区(南アルプスユネスコエコパークミュージアム、田代ダム(見学、渡船乗船、在来作物の試食) ほか)	有	有	◆
農林業 (静岡大学)	後期(※1)	100	1	静岡県の農作物、樹種について、静岡大学付属農場(藤枝フィールド)、付属演習林(天竜フィールド)で秋冬期の作業を体験し、その特徴について基本的な事柄を総合的に学ぶ。 【訪問予定先】静岡大学地域フィールド科学教育研究センター(藤枝フィールド、天竜フィールド)(収穫体験、森林観察)			◆
観光学 (静岡県立大学)	1月中旬(2日間)	20	1	東部地区や伊豆半島を舞台に、観光業に携わる方々の話を聴き、観光地を見学する。講義と野外学習を通して、本県の多彩な観光資源や地域の魅力について理解を深める。 【訪問予定先】ゲートウェイ函南(見学)、さかなやステイ(見学)、ジオリア(見学)、修善寺温泉街ジオガイドツアー、LOQUAT西伊豆(見学、イチゴ狩り体験) ほか	有	有	☆
富士山学概論	R8年度休講				—	—	◆

※1 オンデマンド講義を含む ※2 ★:芸術学系 ☆:経済・経営・商学系 ◆:農・水産系

R7「静岡県の産業イノベーション」 参加学生

企業の方の話を通じて、
色々な働き方や考え方を
学ぶことができた

実際に現場を訪れ、
働くことの大変さだけでなく、
やりがいも知ることができた

R7「お茶」 参加学生

茶摘みの体験や
荒茶工場の見学等、
貴重な体験をすることができた

自分で摘んだ茶葉を、
自分で加工して
お茶として飲むことができ、
達成感があった

R7「南アルプスの自然」 参加学生

南アルプスの自然や
井川地区の文化を、
色々な視点から学ぶことができた

普段は見られないオクシズの
美しい自然を目の当たりにし、
同時にそれが失われる危険性や
水問題についても知ることができた

留意事項

- 各科目の情報は現時点の内容のため、変更となる可能性があります。
- 応募の際は、募集要項及び所属校の募集スケジュールをご確認ください。
- 各科目は、いずれも令和7年度までの「ふじのくに学」と同一の科目となります。
重複履修等の取扱については、所属校の担当課にご確認ください。

授業の様子はこちら

